

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 5年 6月28日	
栃木県知事 福田 富一 様	
提出者	
住 所 栃木県栃木市大平町富田500番地	
氏 名 日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社 栃木事業所長 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0282-43-1110	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社 栃木事業所
事業場の所在地	栃木県栃木市大平町富田500番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	空調・住宅関連機器製造業 (2932)
②事業の規模	製品出荷額 2,599億円/年
③従業員数	971人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	<b>【前年度（令和4年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	排出量	別紙3の通り t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4の通り		
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	排出量	別紙3の通り t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4の通り		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4の通り
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4の通り

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4の通り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4の通り		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
(これまでに実施した取組) 別紙4の通り			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
(今後実施する予定の取組) 別紙4の通り			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4の通り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4の通り		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	全処理委託量	別紙3の通り	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙3の通り	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙3の通り	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙3の通り	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙3の通り	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4の通り		

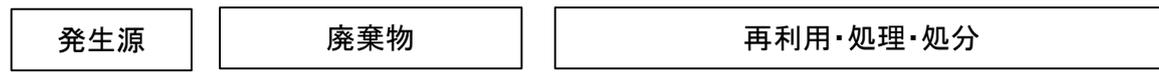
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	全処理委託量	別紙3の通り	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙3の通り	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙3の通り	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙3の通り	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙3の通り	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4の通り		
※事務処理欄			

(第6面)

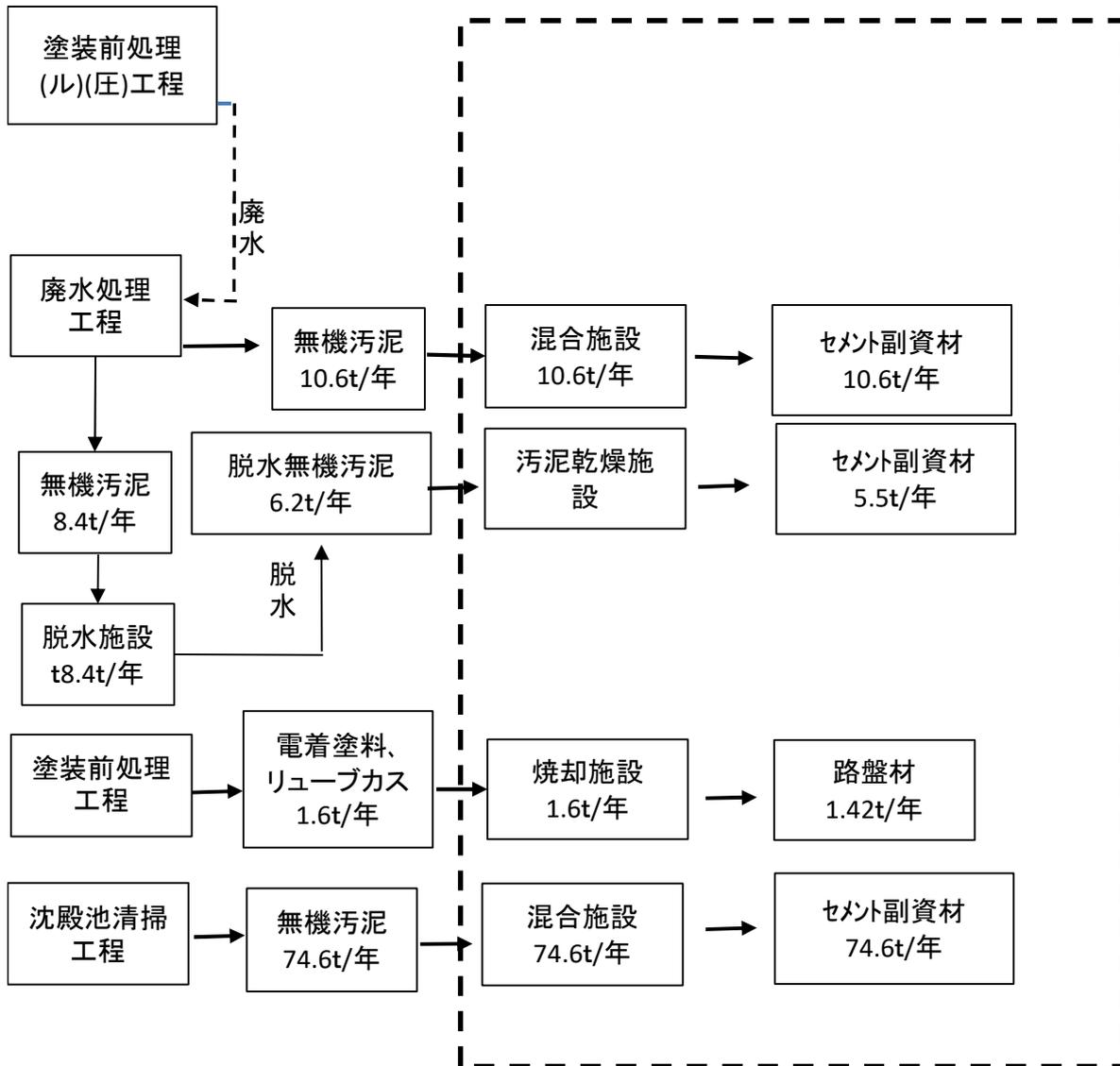
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙-1-1



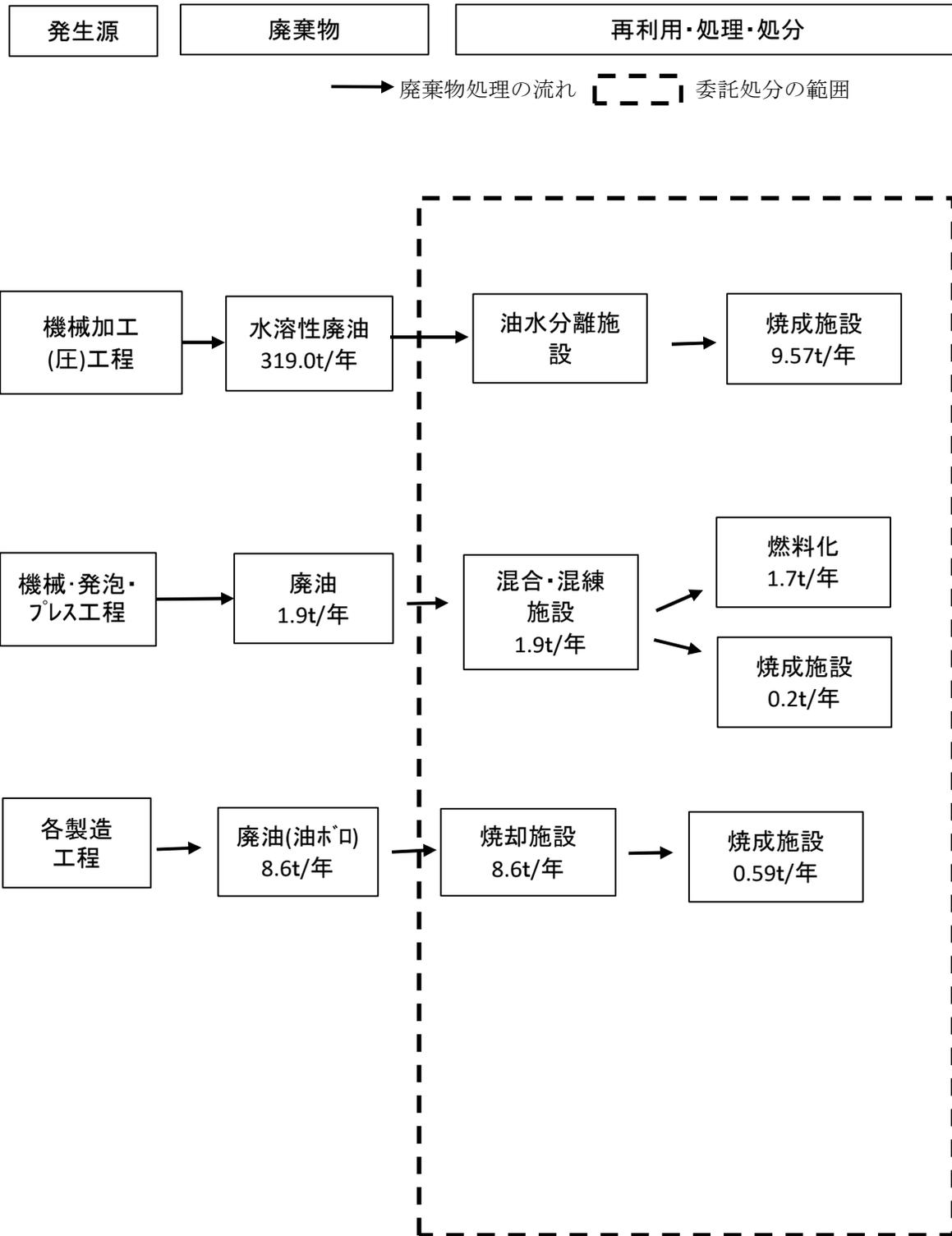
→ 廃棄物処理の流れ       委託処分の範囲



廃棄物処理フロー図（汚泥）

(ル) : ルームエアコン  
(圧) : 圧縮機

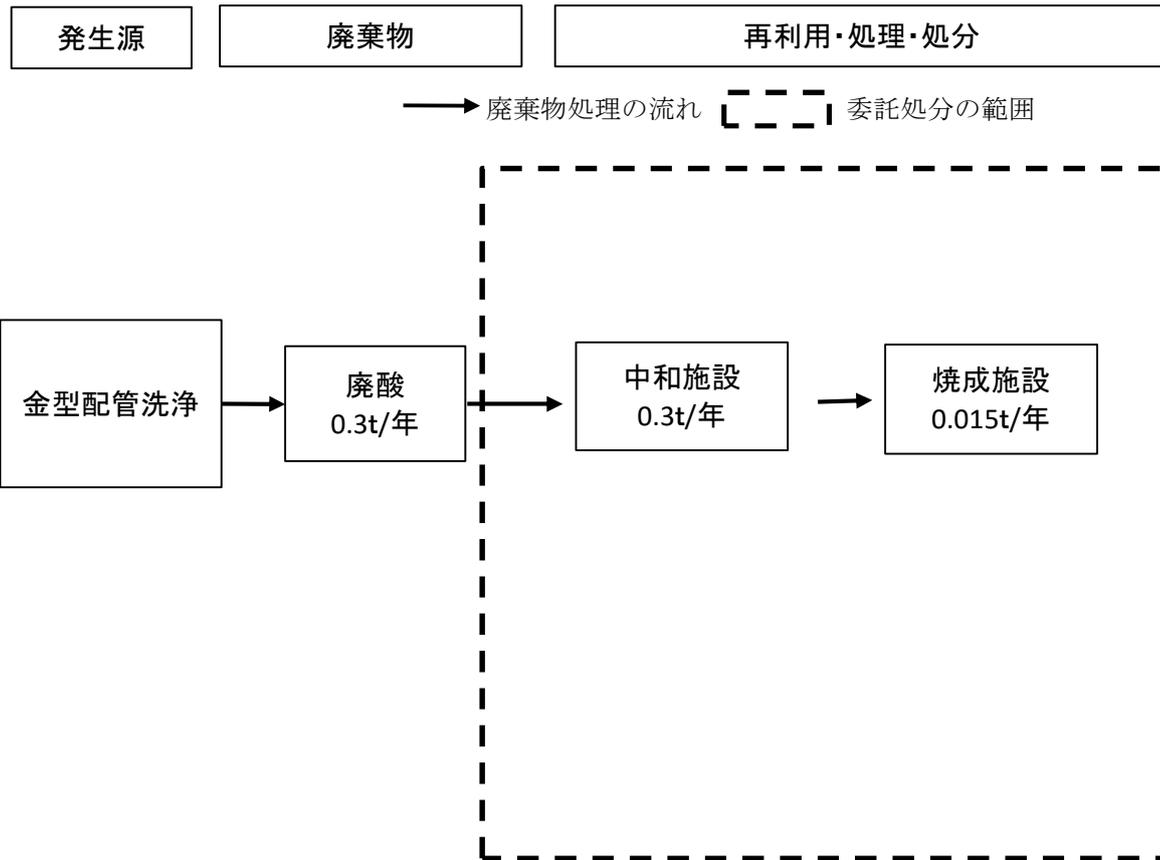
別紙-1-2



廃棄物処理フロー図（廃油）

(ル) : ルームエアコン  
 (圧) : 圧縮機

別紙-1-3



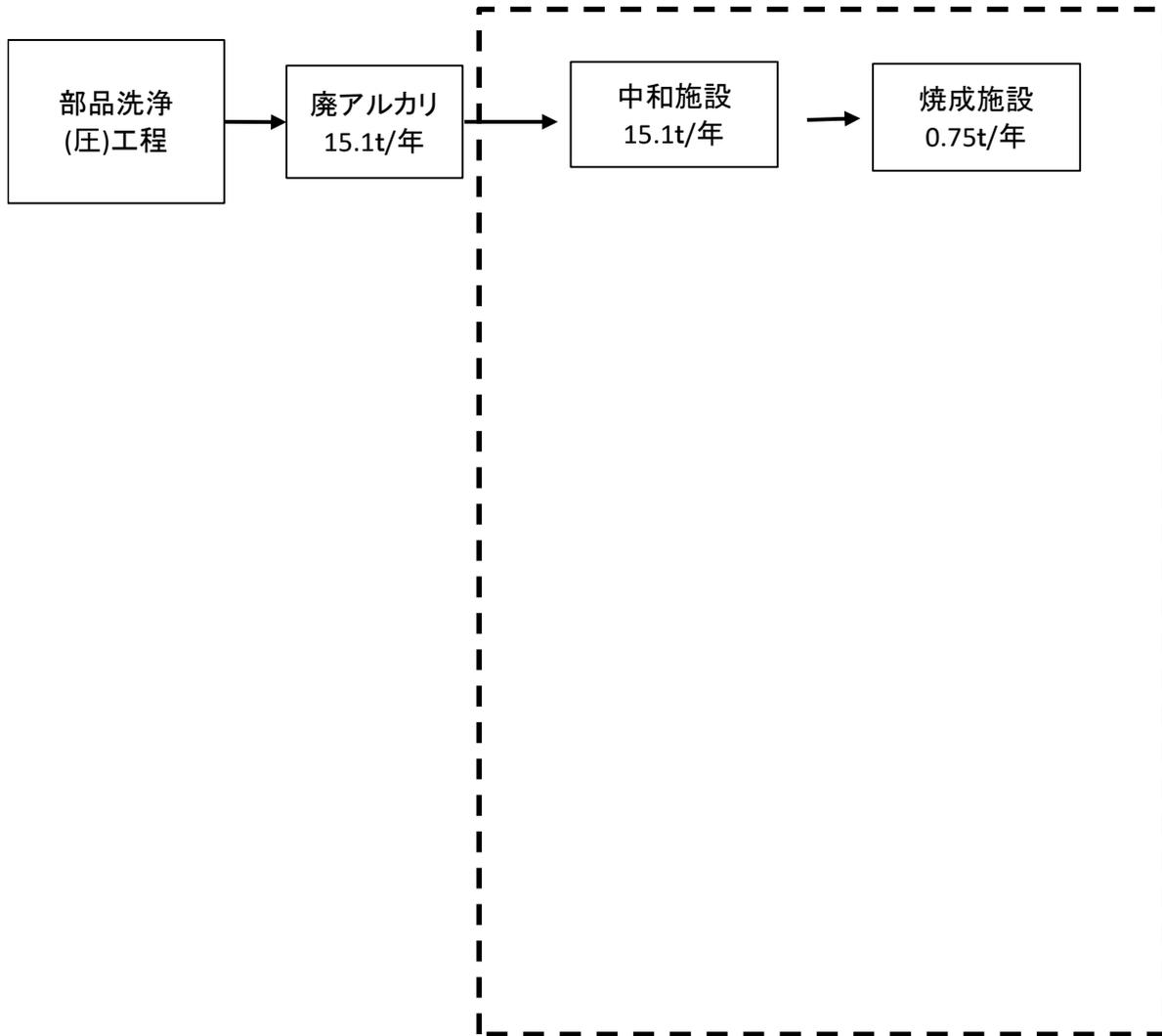
廃棄物処理フロー図（廃酸）

(ル) : ルームエアコン  
(圧) : 圧縮機

別紙-1-4



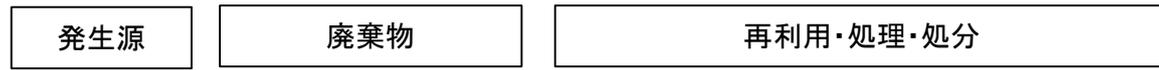
→ 廃棄物処理の流れ   委託処分の範囲



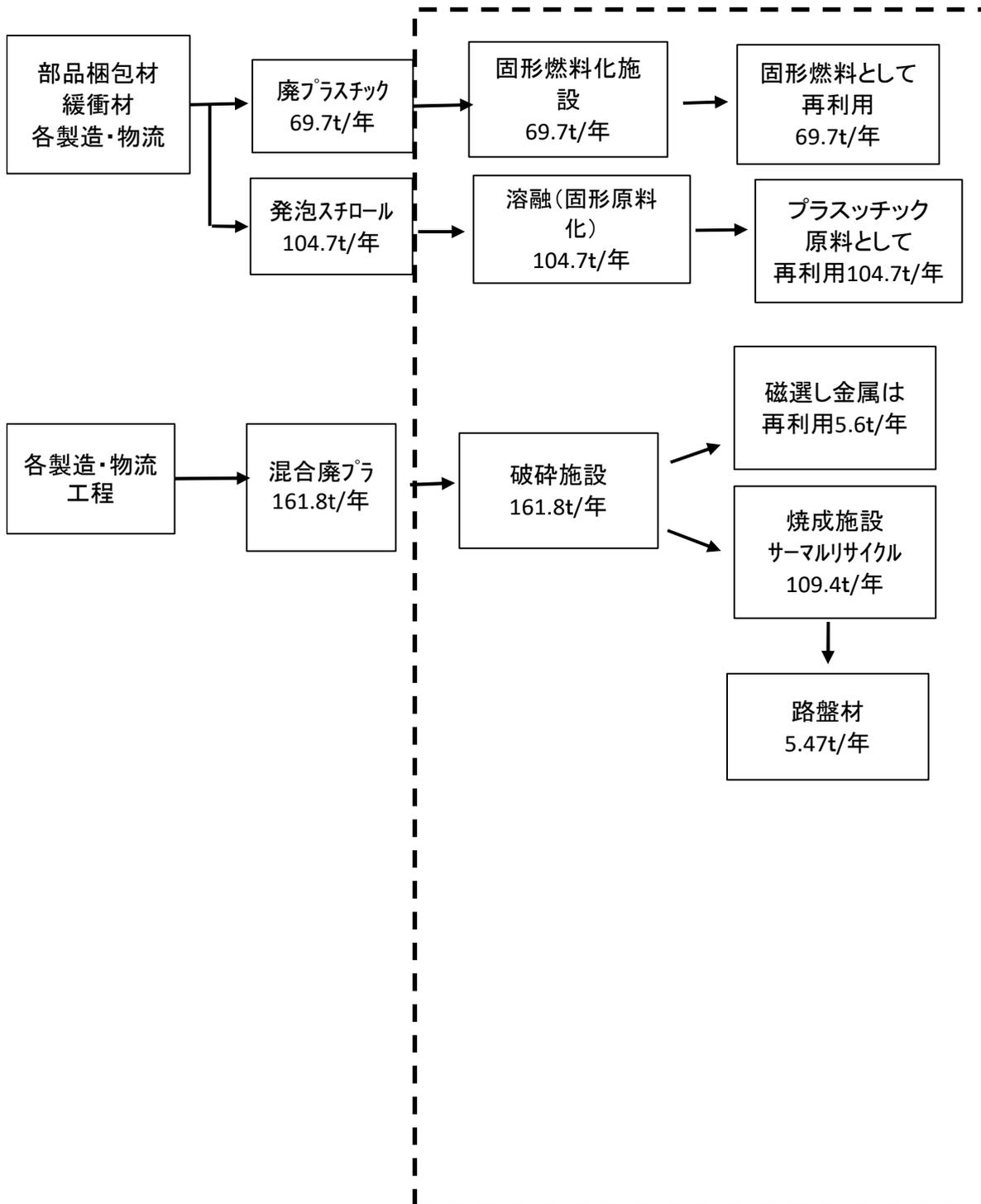
廃棄物処理フロー図（アルカリ）

(ル) : ルームエアコン  
(圧) : 圧縮機

別紙-1-5



→ 廃棄物処理の流れ    [---] 委託処分の範囲



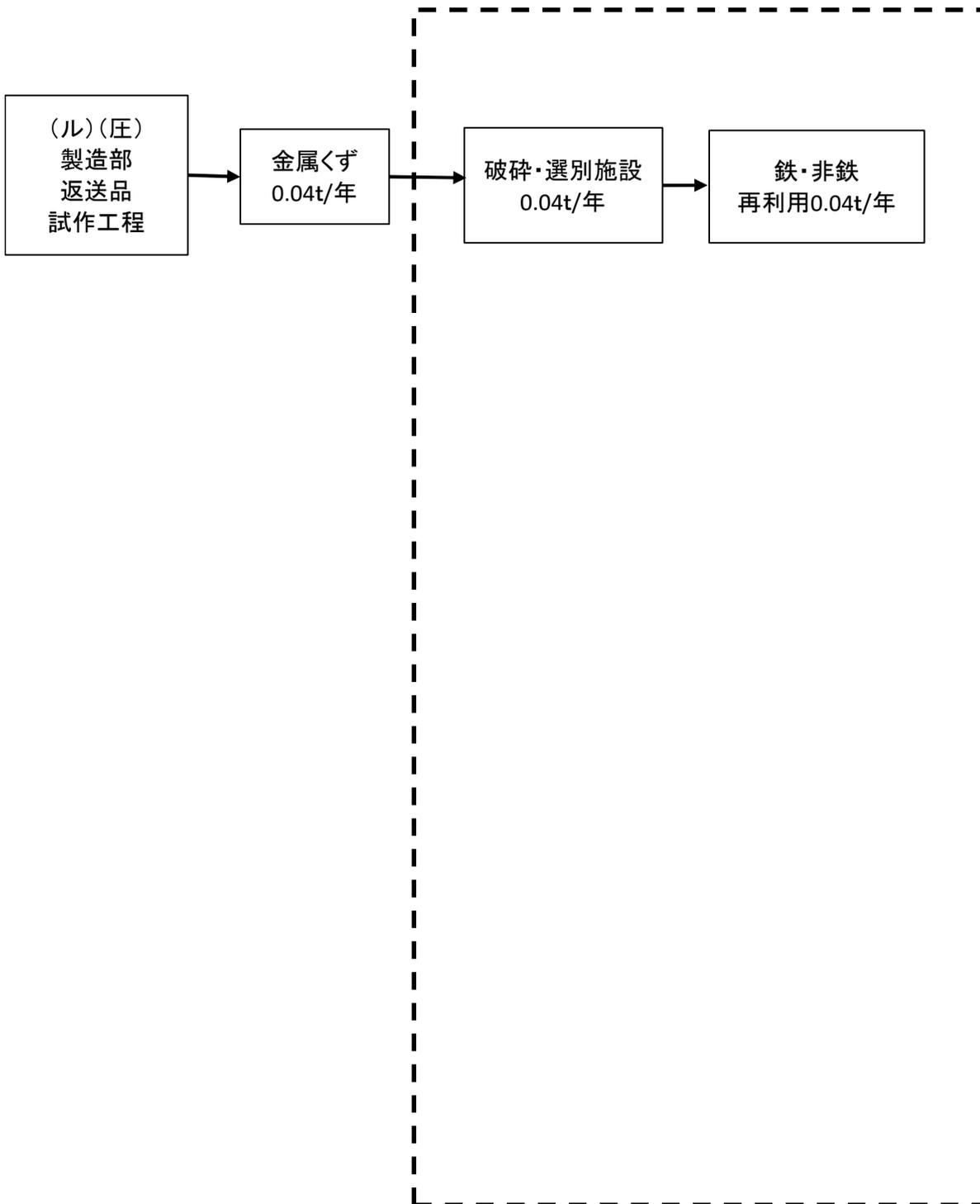
廃棄物処理フロー図（廃プラスチック）

(ル) : ルームエアコン  
(圧) : 圧縮機

別紙-1-6



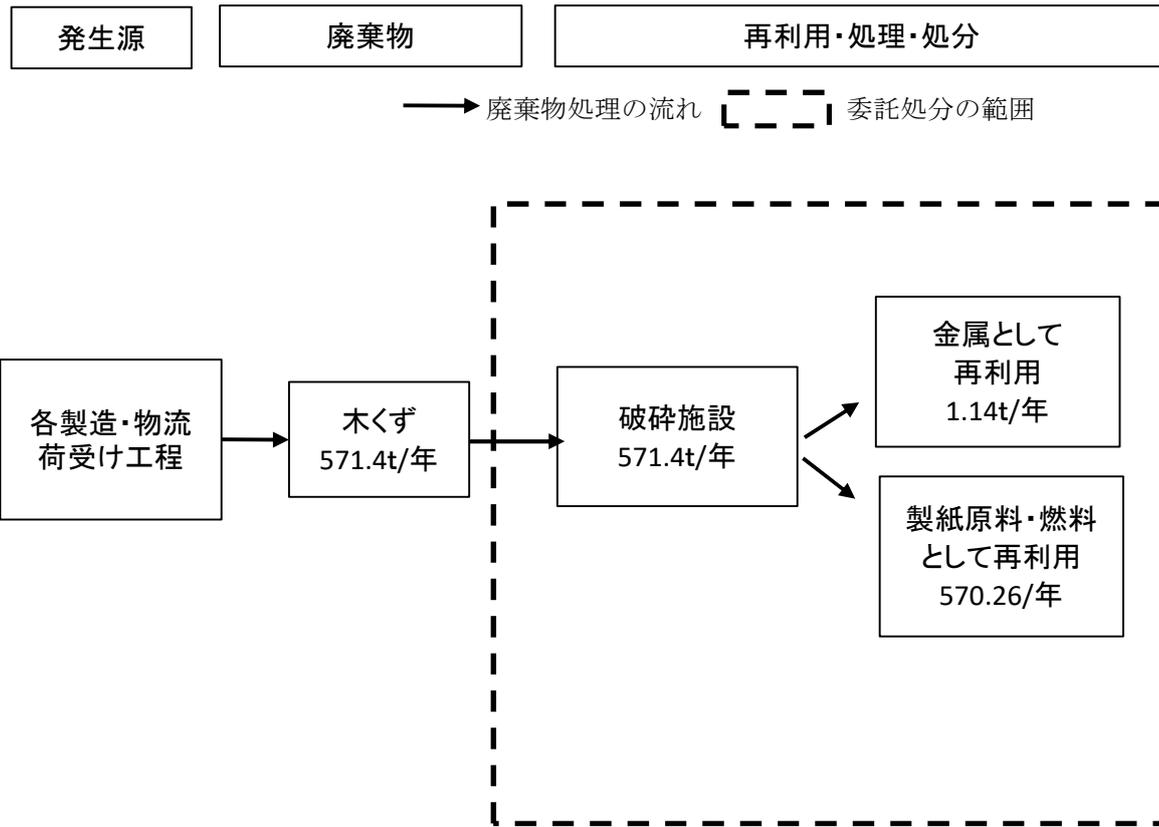
→ 廃棄物処理の流れ   委託処分の範囲



廃棄物処理フロー図（金属くず）

(ル) : ルームエアコン  
(圧) : 圧縮機

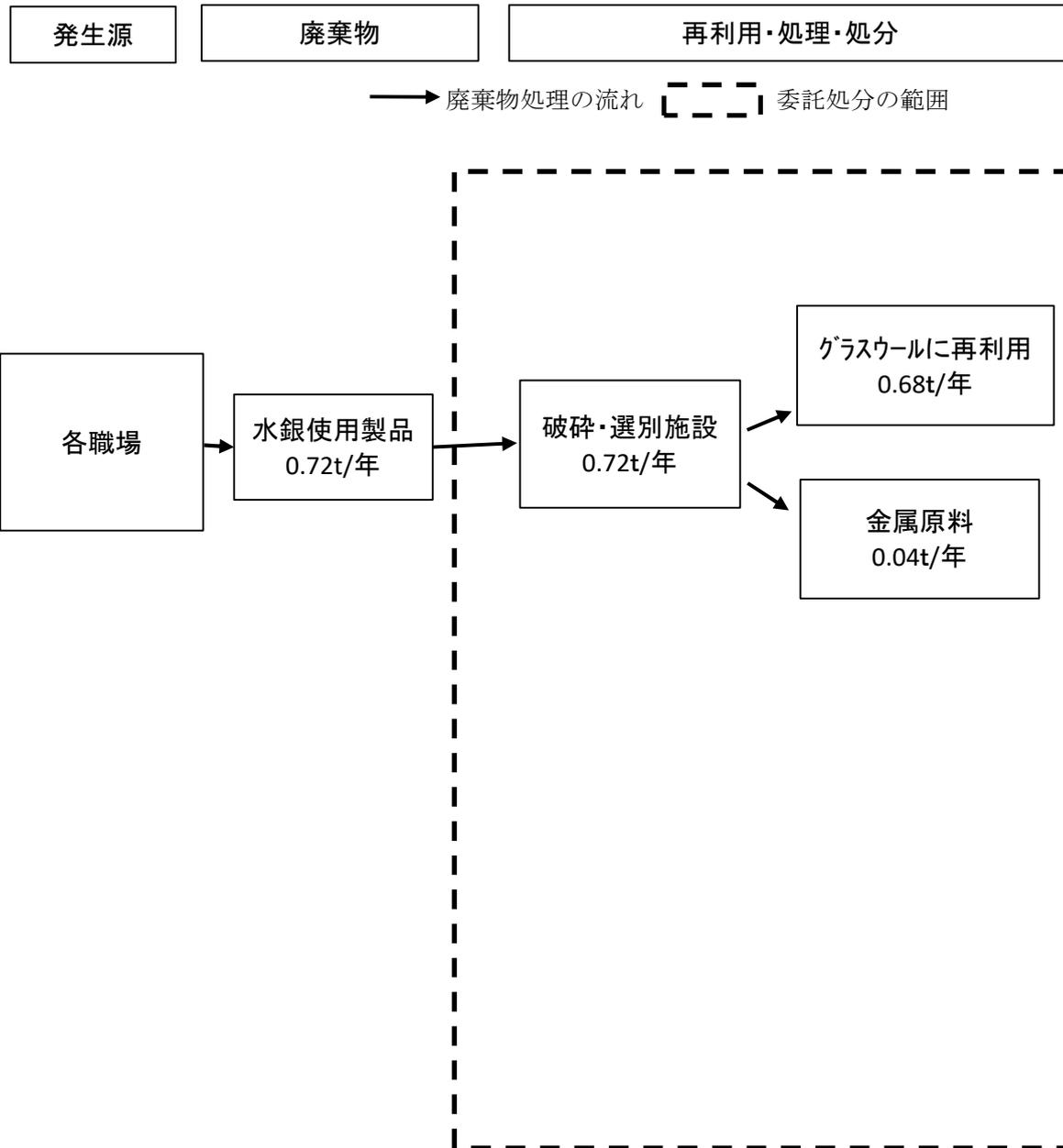
# 別紙-1-7



廃棄物処理フロー図（木くず）

(ル) : ルームエアコン  
(圧) : 圧縮機

別紙-1-8



廃棄物処理フロー図（水銀使用製品産業廃棄物）

(ル) : ルームエアコン  
(圧) : 圧縮機

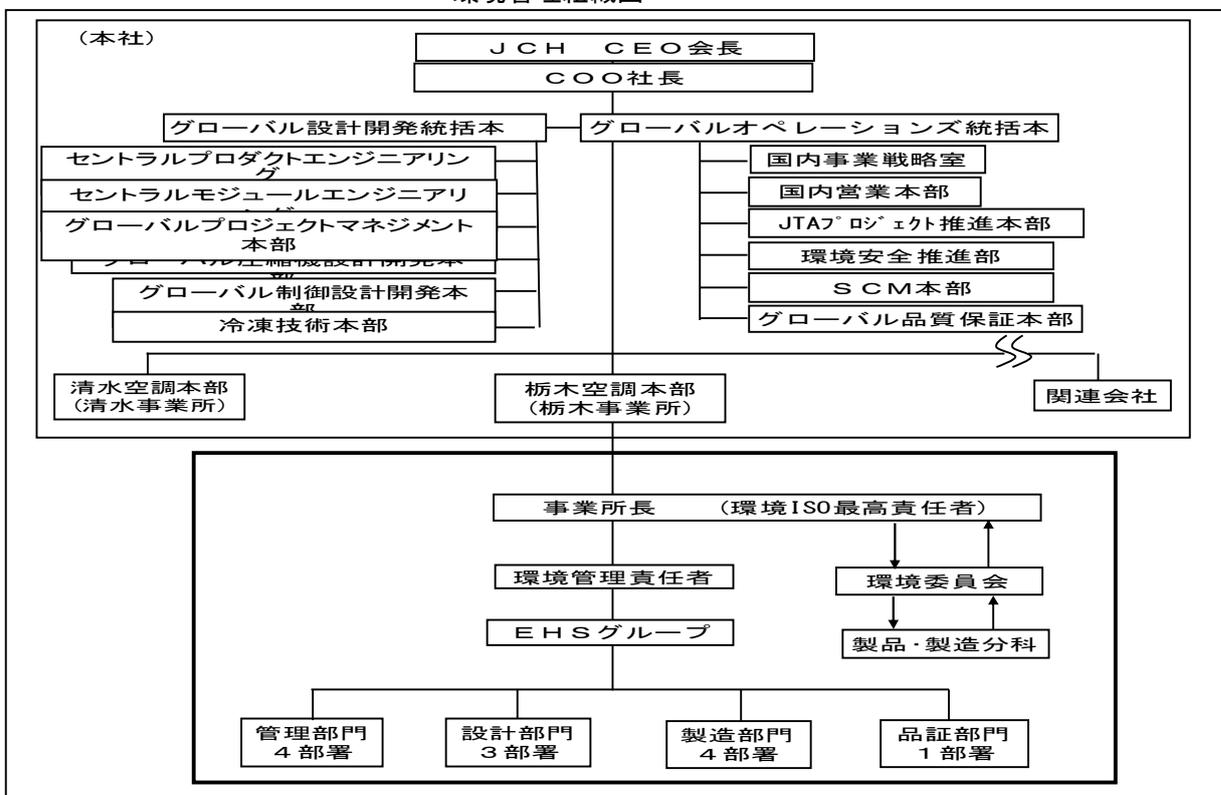
別紙-2

<産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項>

管理体制図

統括責任者	事業所	日立ジョンソンコントロールズ空調(株) 栃木事業所	
	職・氏名	事業所長	
廃棄物管理部署	部署名	EHS/JCMS推進室 EHSグループ	
	部長	環境管理責任者	
	主任技師	環境管理専任者	
	主任	EHSグループ 主任	
	担当	EHSグループ 担当者	
運用体制	環境委員会	審議内容	・環境マネジメントシステム2015版有効性に対する定期見直し ・見直しに基づく環境方針、環境目的・目標の適切性の評価 (廃棄物削減は、環境方針・管理目標の1つ)
		組織	委員長：事業所長、委員：各分科会主査、関連会社社長 環境管理責任者、事務局：EHSグループ
	製品・製造分科会	活動内容	・廃棄物削減の計画立案、発生抑制等の検討及び活動 ・省エネの計画立案、エネルギー使用量抑制等の検討及び活動 ・工業用水(地下水)使用量の削減計画立案、低減活動
		組織	主査：製造部長、委員：各製造部、関連会社課長 事務局：EHSグループ
	事業所全体活動	活動内容	・廃棄物削減の具体策の実践(調査・抑制施策・分別徹底等) ・職場巡視、職場への周知、教育の実施等
		取纏組織	主査：製造部課長、委員：各製造部、関連会社主任・技師 纏め：EHSグループ
各部責任者	部長	・自部門の計画に基づく改善活動の実行指示及び確認	
各部環境管理担当者及び代行者	課長 主任・技師	・自部門の改善活動の計画及び改善推進 ・環境情報の伝達と教育の推進	

環境管理組織図



※注：JCH……日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社の略称

別紙 3

R 4 (2022) 年度実績値及び R 5 (2023) 年度目標値

廃棄物種類 及び 実績、目標の 別  排出・処理 の区分	汚泥		廃油		廃酸		廃アルカリ		廃プラスチック類		金属屑		木くず		水銀使用製品 産業廃棄物		合計	
	実績(t) (R 4 年度)	目標(t) (R 5 年度)																
①排出量	95.1	93.2	329.6	323.0	0.3	0.3	15.0	14.7	336.5	329.8	0.0	0.0	571.4	560.0	0.7	0.7	1348.66	1321.7
②自己再生利用量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
⑤自己熱回収量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
⑦自己中間処理減量化量	2.2	2.2	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.2	2.2
⑨自己最終処分又は海洋 投入処分量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
⑩全処理委託量	92.9	91.0	329.6	323.0	0.3	0.3	15.0	14.7	336.5	329.8	0.04	0.0	571.4	560.0	0.7	0.7	1346.5	1319.5
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	92.9	91.0	329.6	323.0	0.3	0.3	15.0	14.7	336.5	329.8	0	0.0	0	0	0.7	0.7	775.02	759.5
⑫再生利用業者への 処理委託量	85.2	83.5	329.4	322.8	0.3	0.3	15.0	14.7	336.5	329.8	0.04	0.0	571.4	560.0	0.7	0.7	1338.6	1311.8
⑬認定熱回収処理業者 への委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
⑭認定熱回収処理業者以 外の熱回収を行う業者への 処理委託量	7.7	7.5	0.2	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7.9	7.7

別紙－４

＜産業廃棄物の排出の抑制に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラ類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポリシート類を分別しプラスチック再生業者に売却し、再生ペレットで構内ゴミ袋作成</li> <li>・購入部品の包装仕様書を検討し、包装材の削減を図る</li> <li>・廃棄ABSを再生プラスチック業者に売却</li> <li>・エアコン消音材にグラスウールを入れ再利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・混合廃プラを分別し、利材として売却して再利用を実施する</li> <li>・ポリエチレン緩衝材をペレット化し再生袋を作成</li> <li>・汚れたフィルターのクリーニングを実施し再利用</li> <li>・発泡スチロールを自社で熔融固形し利材として売却し再利用</li> </ul>
廃油類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腐敗防止剤の検討、ろ過装置、フィルタ装置により切削油の長寿命化を図る</li> <li>・レンタルウエス使用による油ぼろの削減</li> <li>・シモン軍手・皮手のレンタル化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・液の検討、回収装置と再生装置を提案し長寿命化を図る</li> <li>・切削油にフィルターを通し長寿命化を図る。</li> <li>・油水分離にて、廃油回収</li> </ul>
廃アルカリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腐敗防止剤の検討、ろ過装置、フィルタ装置により切削油の長寿命化を図る</li> <li>・濃度管理し、使用量削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・液の検討、回収装置と再生装置を提案し長寿命化を図る</li> <li>・アルカリ洗浄からフッ素系洗浄に変え沸点の低い液を使用し蒸留再生を行い廃棄量を削減</li> </ul>
木くず	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外より持込まれる木製パレットをダンボールパレットに進めてゆく</li> <li>・木製パレットを補修し廃棄削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専用通い箱の提案</li> <li>・プラパレの検討</li> </ul>

＜産業廃棄物の分別に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラ類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イラスト入り分別表・置場配置図作成。</li> <li>・各部の環境管理担当者の職場巡視による分別の点検、指導を行う</li> <li>・ホームページを活用し、分別・抑制等の相談コーナーを設ける</li> <li>・分別モデル職場を作り横展開を図る（処理費用・買取額の提示）</li> <li>・廃棄物種類毎の廃棄促進を目的としたヤードの整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別表に現物を掲示し分別方法の徹底を図る</li> <li>・置場マップの作成で、廃棄物、利材品置場のT.T</li> <li>・各職場、廃棄物置場の分別パトロールの実施</li> <li>・他の事業所と環境交流会を設け廃棄物置場分類表など良い点を見習う。</li> </ul>
金属くず	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別を徹底し有価物として金属業者に売却</li> <li>・非鉄、鉄を分別し原料として売却</li> <li>・混合物を分別し（廃プラ・金属）売却</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物種類毎の廃棄促進を目的としたヤードの整備</li> </ul>

＜自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラ類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃プラからプラスチック部品再生利用の実施</li> <li>・廃プラより固形燃料できる業社へ委託</li> <li>・分別利材化の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポリシートの分別（HD・LD）利材化</li> <li>・発泡スチロール・廃プラ固形燃料化設備導入検討</li> <li>・固形燃料ボイラーを検討</li> </ul>

＜自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃水処理から発生する無機汚泥13.7tを脱水機により10.0tに減量化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脱水機による減量化の継続実施</li> </ul>
廃プラ類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発泡スチロールを減容し売却 10t</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発泡スチロールを固形燃料化する設備の導入検討</li> </ul>

＜自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
	—	—

＜産業廃棄物の処理の委託に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚泥300tを脱水処理施設を持つ業者に委託して210tに減量化</li> <li>・塗装前処理汚泥（ボンデかす）を認定熱回収業者へ委託しサーマルリサイクル化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物汚泥活性法にて、返送汚泥の調整により生物汚泥の削減推進</li> </ul>

廃プラ類	・混合廃プラ155.4 t を破碎・焼却処理業者に委託して熱回収するとともに、15.5 t に減量化する	・ペットボトルの売却化
金属くず	・溶接スパッタを利材化実施	・金属、廃プラ混合品の分別利材化